

民医連厚生事業協

共済だより

2026年
6月
第218号

発行所●全日本民医連厚生事業協同組合

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター6F
TEL03-5842-5650 FAX03-5842-5652

共済だより応募フォーム
<https://min-jigyō.aik-yuinowa.net/kyosai-form/>

ホームページ:<https://min-jigyō.or.jp>
バックナンバーの記事(一部のみ)はこちらから



いわさきちひろ「あめ」(1960年頃) (14ページに作品のコメントと美術館のご案内をしています)

主な記事

- 伝えていきたい 私の民医連¹⁷³ 全日本民医連元薬剤担当理事 立岡 雅子
- 私の趣味・こだわり紹介⁹⁸ いつでもどこでも喫茶店めぐり 広島・40代ISFJ
ペンネーム
⁹⁹ 日本遺産 石見神楽 島根・どんちっち
ペンネーム
- 沖縄に連帯して 瀬長 和男(沖縄)
- いま、なぜ憲法改悪なのか パートII¹⁴⁸ 若手弁護士の会
- 縮図からみる世界⁹⁷ 新自由主義イデオロギーが作りだした社会 斎藤 貴男
- 健康でいきいきと働きつづけられる職場づくりを 第三話
- 私の職場紹介²⁹ 東京・健康文化会 小豆沢歯科/安藤 翔子



避難せず大浦湾に残る砂杭打設船



沖縄に連帯して

「辺野古と併せて普天間を維持」は大問題

2月16日付のしんぶん赤旗が報じた「緊急時に備え沖縄県内にある滑走路の長い民間空港を使用できなければ普天間は返還されない」との米国防総省公式見解は、昨年9月時点の見解でしたが、米国防総省では今年度もその見解を維持しているようです。

以前にも、米保守系シンクタンク派遣の米海兵隊中佐が「辺野古新基地と併せて普天間を維持するべき」と提言する論文が発表され、普天間基地幹部から「軍事的には普天間が有利」との発言もありましたが、辺野古完成後も「普天間」を使い続けたいというのは、米海兵隊だけでなく米国防総省の方針であったことは、大問題だと考えています。この米国防総省見解に小泉国防相は、「日米間での合意の認識に齟齬はない」と発言

しています。言い換えれば、「普天間返還後に緊急事態が起されれば、いつでも県内の滑走路の長い民間空港（那覇空港or下地島空港）を米軍に提供し、使用させることになっています」と、日米間の裏取引を暴露したもので、結局、普天間が返還されてもされなくても、いずれにしても米海兵隊の使い勝手のいい空港を沖縄に確保し続けると宣言したものであり、絶対に許されません。

辺野古移設の8条件の中に、「交通渋滞」と「施設の完全な運用上の能力取得」の記載があり、今頃になって政府から、キャンプシュワブと隣接する基地を結ぶ新たな道路の整備や、辺野古に繋がる高速道路の分岐案が出されました。高速道路については「特定利用道路」の新設で、有事の際には相手国の「標的」になり、一般市民が犠牲になる危険な計画です。これからも注視していく必要があります。

大浦湾では、季節外れの台風4号接近で多くの作業船が避難しましたが、昨年、台風を理由に半年も避難していた砂杭打設船は残り続けると



新たな普天間返還条件関連工事の記事

いう理解不能な状況がありました。

ゲート前では、3月16日の転覆事故から七七忌となる5月3日以降も、犠牲者への哀悼の意を示し続けていく事を確認し、新基地建設への抗議を行っています。

2026年5月9日

沖縄民医連共済会連絡会

会長 瀬長和男

◎カンパ送付先

郵便振替口座 加入者名：沖縄県統一連
口座番号：01710-8-62723

1. 国民の怒りの連帯が広がっています

高市政権は発足以来、首相の不用意な「台湾有事」発言に始まり、事実上の武器輸出全面解禁を決めるなど、憲法の定める平和主義と相容れない政治を続けています。さらに自民党総裁として、高市氏は自民党大会において「時は来た」として憲法改正への並々ならない執念を述べたのは周知のとおりです。憲法尊重擁護義務を負う立場の政治家たちが堂々とまるでドヤ顔で義務に違反している姿は、立憲主義と民主主義を標榜する国の権者として恐ろしく、怒りもこみあげます。そんな暗い政治が続く中にも希望を感じるのには、そのような政治を「おかしい！」と感じる市民が次々に国会前や街頭に集結し、全国各地でデモやスタンディングが繰り返されていることです。4月19日の国会前では3万6千人、5月3日の憲法記念日には東京の有明防災公園に5万人もの市民が集まって、「軍拡より生活」「憲法改正反対」などの平和や人権への願いがこもったたくさんのアピールがなされました。ものものしい国会議事堂のエリアが、キラキラ光るペンライトやクस्तと笑えるようなのぼり旗によってカラフルに彩られる光景はSNSなどでご覧になっている方も多いのでは。私は、万単位の市民が「思い思いのスタイル」で

シリーズ

いま、なぜ憲法改悪なのか パートII

148 全国各地で市民の怒りの「カラフルな」連帯 ～声をあげられる自由を感じながら～



「明日の自由を守る若手弁護士の会」 共同代表
公式ブログ <https://www.asuno-jiyuu.com/>

黒澤いつき



表現の自由（憲法21条）をフル行使する光景に、涙がこみ上げるような思いです。権力に言いたいことを、言いたいときに、言いたいスタイルで言える自由があるということとは、なんてかけがえのないことなのでしょう、と心の底から感じます。

2. 反戦デモへの冷笑にご注意

しかし、反戦を訴える声の拡がりに冷や水をかけるような声があがるのもまたよくある話で、最近では「戦争反対なんて当たり前」のことをわざわざ声高に叫ぶのはおかしい」という揶揄が流行っているようです。こういう「正論めいた」言説にしよんぼりする必要はありませんし、流されないようにしましょう。なぜなら、戦争反対という「当たり前」のことで、政治は常に「やむを得ない」という論法で切り捨ててくるからです。戦争が好きだから戦争しよう！という政治家は

いません。あくまでも「したくはないが、しかし戦争もやむを得ないのです」という言い訳で国民を飲み込み、戦争へと押し切ります。政治が軍拡・戦争へ舵を切ろうとするとき、同時に権力に懐柔されたマスメディアは「軍拡・戦争もやむを得ない」論調で報道するでしょう。そのとき、市民は気軽に「当たり前」はずの軍拡・戦争反対！の声を上げられるでしょうか？ とても勇気の要ることだと思えます。「戦争もやむを得ない

だ」論法に飲み込まれた世間からは、戦争反対を叫ぶ市民は「非国民」「国益に反する」かのような目で批判されることも容易に想像がつきます（戦争反対！と叫ぶことは、80年前の敗戦まで、むしろ命がけでした）。だからこそ、私たちは何度でも、「戦争はやむを得ないんだ」という言い訳も決して許さない、と強く訴える必要があるのです。「戦争反対なんて当たり前じゃん」という揶揄は、表現の自由というものの理解がなく、歴史への思慮もありません。戦争反対！と何度でも何度でも「かけがえのないこと」として叫び続けることは、確実に権力へのブレーキになり、政治に「杭」として打ち込まれます。

3. デモを冷笑する政治家は政治家失格！

また、こうした市民のアクションを「ごっこ遊び」などと冷笑する政治家も出てきました。民主主義や国民主権への理解が欠落しています。自分なりの形で国会・政府に届けようと自らの表現の自由を最大限に活かす主権者たちです。議員なら真摯に耳を傾けるべきです。デモなどのアクションへの態度で、どの国会議員が議員としてふさわしく、また誰が失格か見極めることができますね。私の声には力がある、と自信を持って、楽しく、声をあげていきましょう！

〈訂正〉4月号2段目5行目「選挙期間中、高市首相は自衛隊を憲法に…」を「選挙期間中、高市首相は自衛隊を憲法に…」に訂正します。



新自由主義イデオロギーが作りだした社会

美容の分野で「カリスマ」と呼ばれている著名人のインタビュー記事を読んだ。継母に虐待されて育ったという。成人後も生き方の強要や、金の無心が絶えなかったそうだ。

真実かどうかは知らない。とはいえ、この種の話は、裁判にでもならない限り、子どもの側の主観がすべてだ、ということになっている。ただ――、

ああ、またかとも思う。近年はマスメディアやSNS等で、自分の親を「毒親」だと罵る人がやたらに多い。以前は有名人か否かに関わらず、口外しないのが普通だったのに。

今の時代なら話しても自分のイメージダウンには繋がらず、逆に共感されるだろうとの判断が、語り手側にはきつとある。実際、それで人気を高めたタレントも少なくない。

こういうことではないか。格差社会が定着し、どの所帯の生活も厳しくなって、家庭内の諍いが増えた。ではなぜ格差社会かと言えば、一連の構造改革で社会に根を下ろした新自由主義イデオロギーが、実は公正な競争原理とは裏腹の特性を有しているからだ。

つまり本人の努力ではどうにもならない親の資産やコネが何よりもモノを言う。それでいて自己責任ばかりが強調される風調が、かつては批判的になっていた。

それでも新自由主義は強権的に推進され、世論のほうに変質を余儀なくされた。新自由主義イデオロギーでも言うべき世代の人々は、理不尽な自己責任論に対する反発を、政府やグローバル企業ではなく、銀のスプーンを与えてくれなかった親たちに向けていった。

子どもは生まれてくる家を選べない、の意で使われる「親ガチャ」なんてネットスラングは、まだ可愛い。それ以前に米国から入ってきていた「毒親」なる謗言が、ここ数年、急激に広まった。件の「カリスマ」も、こんな旨を語っていた。

「言葉があるってことは、自分だけじゃない。毒親は救いの言葉みたいな感覚です」。

親との関係は無料のネット漫画でも定番のテーマだという。よせばいいのに覗いてみたら結婚した息子が実母に絶縁を言い渡す、なんてストーリーが山ほどあった。妻に「2人目はまだ？」と急かしたとか、子どもの頃にきつく叱られたのが嫌だった程度のこと、で「毒親」呼ばわりする。現実そのものではないにせよ、親子の情愛もへったくれもない展開が読者に喜ばれるのでなければ、誰も描かない道理。

高齢化社会で、いずれ背負わせられるかもしれない介護への恐怖もあるのだろうか。ともあれこれが新自由主義の現在地、成れの果てだ。

斎藤 貴男 (さいとう たかお)

1958年東京生まれ。早稲田大学商学部卒。英国パーミンガム大学大学院修了。主な著書に『驕る権力、煽るメディア』『決定版 消費税のカラクリ』『いちばんたいせつなもの』『マイナンバーが日本を壊す』『マスゴミって言うな!』『こんな部活あります 正射必中! 弓道部』(2024.3)など。



表紙のコメント**いわさきちひろ「あめ」(1960年頃)**

北原白秋・作詞の童謡「あめ」をテーマに描いた作品です。ちひろは、水彩絵の具をにじませて、窓を伝う雨だれを表現しています。つぶらな瞳の女の子は、なにを思っているのでしょうか。明日の晴天を願い、てるてるぼうずをつくって飾った、幼い頃の懐かしい思い出がよみがえってくるようです。

- ちひろ美術館・東京では、いわさきちひろ「とても素朴なんだけどたいせつなもの、それが絵本の中にはあるんです。」展を7月20日まで開催中です。同時開催：ちひろ美術館コレクション「魔法の絵本=絵本の魔法」展
- 安曇野ちひろ美術館では、トットちゃん広場10周年記念展「みんな、いっしょだよ。」を6月12日～9月6日まで開催します。同時開催：ようこそ！ザ・キャビンカンパニー新収蔵作品展ーがっこうにまにあわない・ゆうやけにとけいくー/ちひろ美術館コレクション「星の下の物語」展



〈イベントのお知らせ〉

ザ・キャビンカンパニー アーティストトーク

日 時：6月12日(金) 14:30～15:30

会 場：安曇野ちひろ美術館

参加費：無料(入館料別) 申込み：不要

*アーティストトーク終了後にサイン会を行います。

ちひろ美術館・東京 TEL.03-3995-0612

安曇野ちひろ美術館 TEL.0261-62-0772

開館情報はホームページをご確認ください。

<https://chihiro.jp/>

